



外国人市民と市民との相互理解や交流を深めるために活動している、国際交流活動団体を紹介します。

(公財)ラボ国際交流センター

ラボ国際交流センターは45年前から続く全国組織です。国際交流活動を推進し、子ども達と一緒に異文化理解を深める活動を行っております。毎年子ども達がアメリカ・カナダ・オーストラリア・中国・韓国でホームステイを体験。そして、日本に海外の子ども達を受け入れたりと、相互交流をしております。一年間に1,000人近い子どもたちが行き来しており、ここ豊橋からも毎年中学生が1か月のホームステイを体験しています。異なった国でホームステイするということは、楽しいことばかりではありません。つらいことも出てくるでしょう。他の家庭でホームステイするためには、すべて自分の判断や自分の力で解決しなければなりません。このような体験は自己の成長や自信に大きく貢献するはずで、地図の上で知っている外国ではなく、外国の家族とともに生活しながら、直接肌で触れたり、見聞きして学ぶことはとても大切です。今まで育った環境とは異なる国の人たちと接することによって、文化や習慣、考え方の

問合せ ☎090-4214-7132(廣瀬 貴和子)
✉k_ice_cream@yahoo.co.jp

違いだけでなくいろいろなことを発見します。

日本と違う文化や習慣を素直に受け止め、理解し、認めるという柔軟な心があれば、相互理解が深まります。異文化を理解することによって、あらためて自分自身や日本のことがわかるようです。語学学校に通うのではなく、ホストファミリーと24時間一緒に過ごすこと、そして、同性・同世代のお子さんがいらっしゃるご家族が受け入れをするのがラボのホームステイです。『ひとり立ちへの旅』と呼んでいるこの交流が活動の中心です。

↑オーストラリアから来た学生のアルバムに興味を示す子供たち。



七夕会で笹の葉に、飾り付けをしました。

Living in Japan

私は2015年4月、インドネシアから豊橋技術科学大学(TUT)に博士課程で勉強するために来ました。専門は電気・電子情報工学です。中でも自然災害時のワイヤレスセンサーネットワークの研究をしています。私がインドネシアで講師として働いているPoliteknik Elektronika Negeri Surabaya(PENS)は、豊橋技術科学大学と技術提携した大学で、日本のJICAから支援を受けています。TUTは、専門技術を習得するためのすばらしい研究室と設備があります。私の他にもPENSからきた講師達は、TUTで勉強を続けています。そして私も、PENSに戻って、ここで身につけた知識と経験を若い世代に伝えたいと思います。日本での滞在中は、勉強だけでなく、家族で京都へ行ったり、トヨタなどの工場見学へ参加したり日本の文化や歴史を知ることができました。インドネシアから連れてきた3人の子供たちは、日本の公立小学校

市内在住の留学生、外国人の方に豊橋に住んで日頃感じていることなどを紹介いただくコーナーです。

の5年、3年、幼稚園の年長となり、小学校では国際クラスでも教えてもらったり、インドネシア人の支援スタッフにサポートしてもらいながら学校で勉強しています。そして、6月には4人目の子が生まれる予定です。妻は、TUT近くにあるモスク(礼拝堂)でイスラム教徒向けのハラールフードで肉を買ったり、スーパーで買い物をする。そして週一回、私と一緒に豊橋市国際交流協会の「にほんごきょうしつ」で日本語を学んでいます。日本の人は礼儀正しく、差別意識もなく、町は清潔で環境問題に意識の高い人が多いという印象を持っています。



豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学 研究生
モハド・ゼン・サムソノ・ハディ(中央)

OFFICE GOODS DELIVERY

IKUMO

株式会社 イクモ

〒440-0056 愛知県豊橋市南旭町78番地
TEL.(0532) 56-0766(代) FAX.(0532) 56-0767
<http://www.ikumo-net.co.jp/>

文具通販最大手 ASKUL

新流通最多アイテム Smartoffice

学校、保育園市場No.1の新流通 スマートスクール

新流通三河No.1取扱高の

株式会社 豊橋タイプ

豊橋市松葉町2の5
TEL (0532) 53-5111 (代)
FAX (0532) 53-6783
URL <http://www.t-type.co.jp>